

## 11

## 自治行政局

# 地方の元気を 引き出す 力になろう！

## PROFILE Hagiwara Yoshitomo

平成13年	4月	総務省採用 消防庁総務課
平成14年	4月	自治税務局固定資産税課
平成15年	4月	奈良県総務部市町村課
平成16年	10月	公営企業金融公庫融資部 融資第一課 兼 第二課
平成18年	9月	自治行政局行政課総務室
平成19年	4月	自治行政局行政課総務室総務係長
平成20年	4月	自治行政局行政課行政第四係長
平成22年	4月	自治行政局行政課行政第三係長
平成24年	4月	鶴ヶ島市総合政策部長
平成27年	4月	現職

自治行政局  
地域自立応援課企画係長

萩原 良智

平成13年入省



とある  
一週間

### 月曜日

地域力創造アドバイザーから各種相談を受けます。

### 火曜日

政府全体で進めている戦略の会議に出席します。

### 水曜日

当課業務を請け負うコンサルタントとの打ち合わせに出席します。

### 木曜日

地域活性化関係団体が主催するイベントに出席します。

### 金曜日

研究会開催のために関係者に説明に伺います。

## 「東京一極集中」の是正を目指して

皆さんの故郷の現状はいかがですか？U・Iターン希望者が魅力を感じる「しごと」はありますか？「ひと」の流れは頻繁で若い世代の転入はありますか？「まち」の生活機能等は十分に確保されていますか？

「地方創生」の実現には、地域の「稼ぐ力」を引き出し生産性の高い雇用を創出すること、地方へのひとの流れをつくる必要があります。そして、これらの受け皿（生活圏である「まち」）を整えることも必要です。

私の職場では、都市地域から過疎地域等に住民票を移動し「地域協力活動」を行いながら定住・定着を図る「地域おこし協力隊」や、三大都市圏の大企業の社員が地方圏へのひとの流れを創出する業務に従事する「地域おこし企業人」等を推進しています。

また、都市機能の集積した中心市と近隣市町村との間で生活機能等の「集約とネットワーク化」を進めることで、地方圏における定住の受け皿を形成する「定住自立圏構想」を推進しています。

## 地方勤務（現場）の経験をいかす

総務省では地方勤務を経験し、現場を体験できるのが強みです。また、そこで知り合った方々との出会いは、何事にも代えがたい財産となります。

奈良県では市町村財政を支援する業務に従事しました。職員の方々が、市町村の課題に丁寧に対応する姿勢に多くを学びました。鶴ヶ島市では、企画財政を担当する幅広い分野に係る業務に従事しました。議会対応はもちろん、住民の方々に直接政策を説明する機会にも恵まれました。住民のためにどのような判断がベストかを職員と議論するほか、自治会等に加入・参画することや、地域企業の方々から意見を伺いながら政策を立案しました。住民や企業等の積極的な参画を得て実施する施策の効果は非常に高く、関係者間でその成果を共有し、喜びを分かち合う時の達成感は大きく、深く印象に残っています。

総務省には、これらの経験をいかす業務のフィールドがあります。皆さんも、地方の元気を引き出すために共に力を尽くしませんか。



## Private Time

平日はデスクワークが中心ですから、週末はできるだけ外出するように心がけています。家族とスポーツやショッピングでストレスを発散しています。また、同僚や地方勤務時代の友人とゴルフを楽しむことや、仕事の情報交換もしながら交流しています。ふるさとイベントなどに一緒に出展するのも楽しみの一つです。